

オーディオ実験室収載

バッハ盤を聴く(16)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(16)—

1. 始めに

前報(15)に引き続き、バッハのアナログ盤を聴き直していきます。

2. バッハのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、今回は LINN LP-12 で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

今回は、次のレーベルを聴いてみます。

ARCHIV MA5073 (日本ポリドール)

J.S.バッハ われ哀れなる人、われ罪の下僕 BWV55

わが魂はあがめ讃う BWV189

カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

J.S.バッハ 恐れるなかれ、われ汝とともにあり BWV228

来ませ、イエスよ、来ませ BWV229

主をあがめまつれ、もろもろの異邦人よ BWV230

クルト・トーマス指揮ゲヴァントハウス管弦楽団

ARCHIV 198-465

J.S.バッハ あしたに輝く たえなる星よ BWV1

キリストは死の縄目につながれたり BWV4

カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

3. バッハのアナログ盤の試聴結果

ARCHIV 盤は、ZANDEN のリストでは、TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid の二つがあります。

ARCHIV MA5073 盤は、日本ポリドール製で TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid の両方で聴いてみましたが、双方ともクリアーで良いのですが、後者の方が音の焦点があっている感じです。BWV55 のソリストの声はよく伸び、フルートの質感も十分で、通奏低音も明瞭です。BWV189 もソリストの声はよく伸び、オーボエやプロ

ックフレーテやバロックヴァイオリンの質感も十分に、通奏低音も明晰です。

BWV228、BWV229、BWV230 はモテットで、控えめな合唱です。

ARCHIV 198-465 盤は、ドイツの Hanover での制作で、TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid の両方で聴いてみましたが、後者の方は強調感があり、前者で聴いていきました。合唱は柔らかく協和し、エディット・マティス(ソプラノ)、エルンスト・ヘフリガー(テノール)、フィッシャー・ディスカウ(バリトン)などの実力派ソリストの歌唱はリアルで、弦や木管の質感も上々です。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)と Magic Mat II の効果の結果をトレースでき、レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上